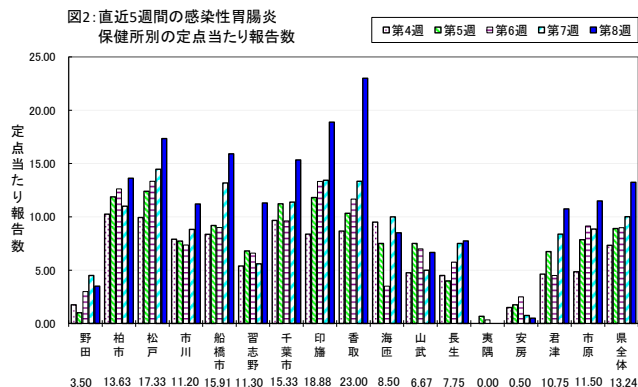
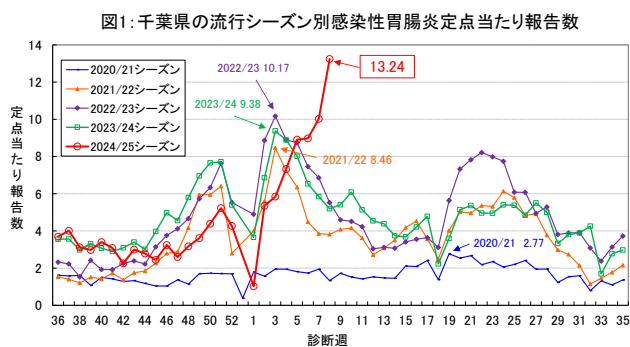


## 【今週の注目疾患】

### 《感染性胃腸炎》

2025年第8週における県内の小児科定点医療機関からの定点当たり報告数は、前週の10.02（人）から増加し、過去5シーズンで最多となる13.24（人）となった（図1）。保健所管内別では、香取23.00（人）、印旛18.88（人）、松戸17.33（人）が多かった（図2）。感染性胃腸炎は通年で発生が見られるが、特に冬季に流行するため、引き続き注意が必要である。



感染性胃腸炎は、多種多様な病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症である。ウイルスが占める割合が多いが、細菌、寄生虫も本疾患の起因病原体である。ウイルス性のもものではノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなどがみられるが、その中でも、ノロウイルスによる感染性胃腸炎は特に冬季に流行することが知られている。乳幼児や高齢者等では、嘔吐、下痢によって脱水症状になることや、体力を消耗することがある。特に高齢者では嘔吐物による誤嚥性肺炎を起こすこともあり、注意を要する<sup>1)</sup>。

現在ノロウイルス等による感染性胃腸炎に使用可能なワクチンはない。感染を予防するためには、食品類の十分な加熱、石けんと流水による手洗いの励行、嘔吐物・糞便等の迅速かつ適切な処理（①使い捨てのガウン（エプロン）、マスクと手袋を着用する、②飛散しないようペーパータオル等で静かにふき取る、③次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度約200～1000ppm）等により汚染区域を消毒する）が重要となる。

なお、消毒用エタノールのみでは十分な効果を期待できないことから、手指に付着しているウイルスを減らす最も有効な方法は、石けんと流水による手洗いである。調理や食事の提供を行う前、食事の前、トイレの後は必ず手洗いを行う。また、手袋をしている場合であっても、嘔吐物・糞便等の処理やオムツ交換を行った後は必ず手洗いを行うことが重要である<sup>2)</sup>。

### ■参考・引用

1) 国立感染症研究所：IDWR 2022年第5号＜注目すべき感染症＞ 感染性胃腸炎

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc.html>

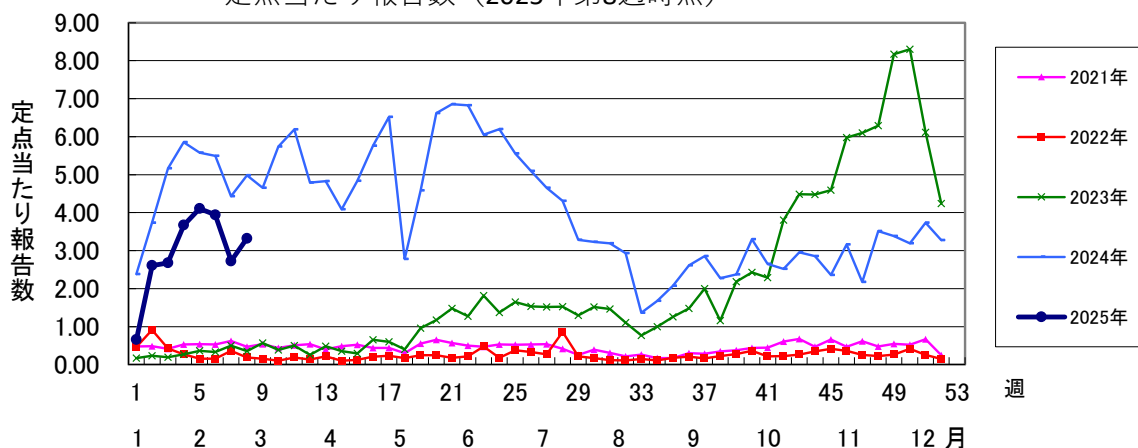
2) 厚生労働省：ノロウイルスに関する Q&A

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

### 《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

2025年第8週における県内の小児科定点医療機関からの定点当たり報告数は3.32（人）に増加した。直近5年では2024年に次ぐ高い水準で推移している（図3）。本疾患は冬季及び春から初夏にかけて患者数が増加する特徴があるとされており<sup>1)</sup>、今後の発生動向に注意が必要である。

図3：2021～2025年の県内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の  
定点当たり報告数（2025年第8週時点）



潜伏期は2～5日であり、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。咽頭壁は浮腫状で扁桃は浸出を伴い、軟口蓋の小点状出血あるいは莓舌がみられることがある。

いずれの年齢でも起こり得るが、学童期の小児に最も多く、3歳以下や成人では典型的な臨床像を呈する症例は少ない。通常、患者との接触を介して伝播するため、人と人との接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多い。感染性は急性期にもっとも強く、その後徐々に減弱する。

予防としては、以下のことが重要である<sup>2)</sup>。

- ① 患者との濃厚接触を避けるため、施設等では職員を含め体調不良者は出勤・登園を控える
- ② 手洗いや手指消毒、咳エチケット（咳やくしゃみを発する者が周囲への感染予防のためにマスクを着用すること）を励行する

#### ■参考・引用

- 1)国立感染症研究所：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>
- 2)国立感染症研究所：IDWR 2023年第43号＜注目すべき感染症＞ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pneumococcal-m/group-a-streptococcus-idwrc/12361-idwrc-2343.html>